

明治薬科大学

教育活動等の改善のための
卒業生アンケート 報告書

2022年度

2022年9月26日

明治薬科大学

進路就職支援委員会

目次

調査概要	P. 2
設問 1. 在学中～卒業時の就職活動について	P. 3 ～ 5
設問 2. 大学卒業後の就業状況について	P. 6 ～ 10
設問 3. 転職・離職経験について	P. 11
設問 4. 転職・離職経験が「ある」場合について	P. 12 ～ 21
設問 5. 現在の就業先について	P. 22
設問 6. 明治薬科大学における学修経験について	P. 23

調査概要

調査目的

卒業後3年を経た卒業生の就業現状および満足度を調査することにより、その傾向を把握するとともに、今後の進路就職支援への活用を目的とする。

調査時期

◆ 2022年8月5日（金）～8月31日（水）

調査方法

◆ 郵送調査法

調査対象者

◆ 卒業後3年を経た 明治薬科大学・大学院 2019年3月卒業生

		配布数	回答数	有効回答数	有効回答率	
2022年調査	薬学部	薬学科	275	109	109	39.6%
		生命創薬科学科	23	7	7	30.4%
	大学院	薬学研究科 博士（前期）	34	11	11	32.4%
	合計	332	127	127	38.3%	
2021年調査	薬学部	薬学科	259	88	85	32.8%
		生命創薬科学科	28	5	4	14.3%
	大学院	薬学研究科 博士（前期）	63	4	3	4.8%
	合計	350	97	92	26.3%	
2020年調査	薬学部	薬学科	288	98	98	34.0%
		生命創薬科学科	24	7	7	29.2%
	大学院	薬学研究科 博士（前期）	26	7	5	19.2%
	合計	338	112	110	32.5%	
2019年調査	薬学部	薬学科	245	84	84	34.3%
		生命創薬科学科	17	3	3	17.6%
	大学院	薬学研究科 博士（前期）	18	5	5	27.8%
	合計	280	92	92	32.9%	

※生命創薬科学科・大学院については、n数が少ないため、本報告書内容に関しても参考値とさせていただきます。

		男性	女性	性別無回答	
2022年調査	薬学部	薬学科	35	74	—
		生命創薬科学科	5	2	—
	大学院	薬学研究科 博士（前期）	7	4	—
	男女別合計	47	80	0	
	男女比率	37.0%	63.0%	0.0%	
2021年調査	薬学部	薬学科	22	62	1
		生命創薬科学科	3	1	—
	大学院	薬学研究科 博士（前期）	0	3	—
	男女別合計	25	66	1	
	男女比率	27.2%	71.7%	1.1%	
2020年調査	薬学部	薬学科	26	72	—
		生命創薬科学科	2	5	—
	大学院	薬学研究科 博士（前期）	3	2	—
	男女別合計	31	79	0	
	男女比率	33.7%	85.9%	0.0%	
2019年調査	薬学部	薬学科	24	59	1
		生命創薬科学科	2	1	—
	大学院	薬学研究科 博士（前期）	3	2	—
	男女別合計	29	62	1	
	男女比率	31.5%	67.4%	1.1%	

設問 1. 在学中～卒業時の就職活動について

キャリア支援課へ就職活動の相談をしたことがあるのは 回答者全体の71.7%

回答者全体のうち、大学・大学院に在学した当時、キャリア支援課へ就職活動の相談をしたことがあるのは71.7%で、2021年調査と比べスコアが2.2ptの減少。

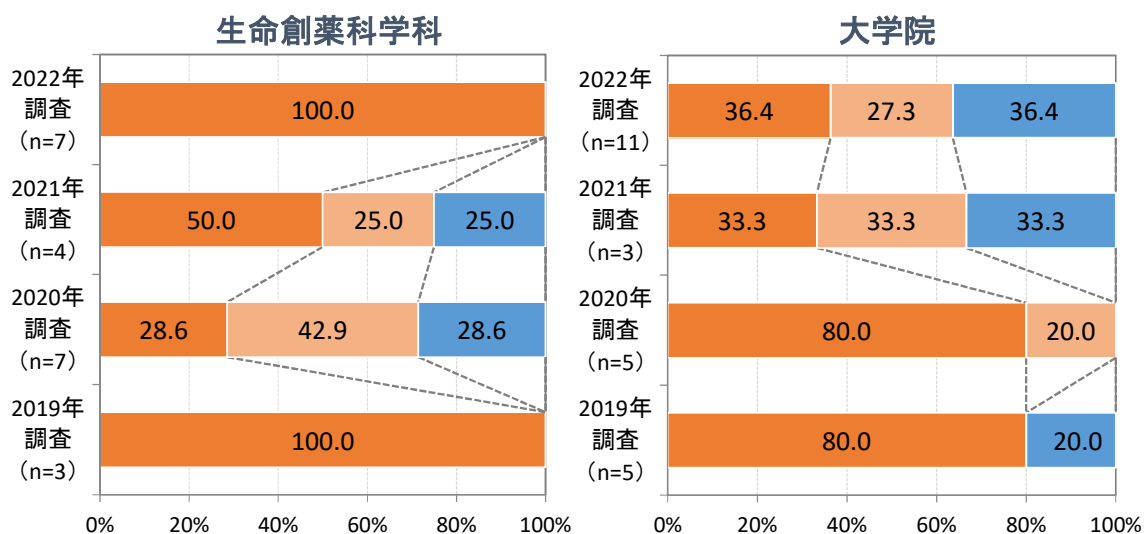
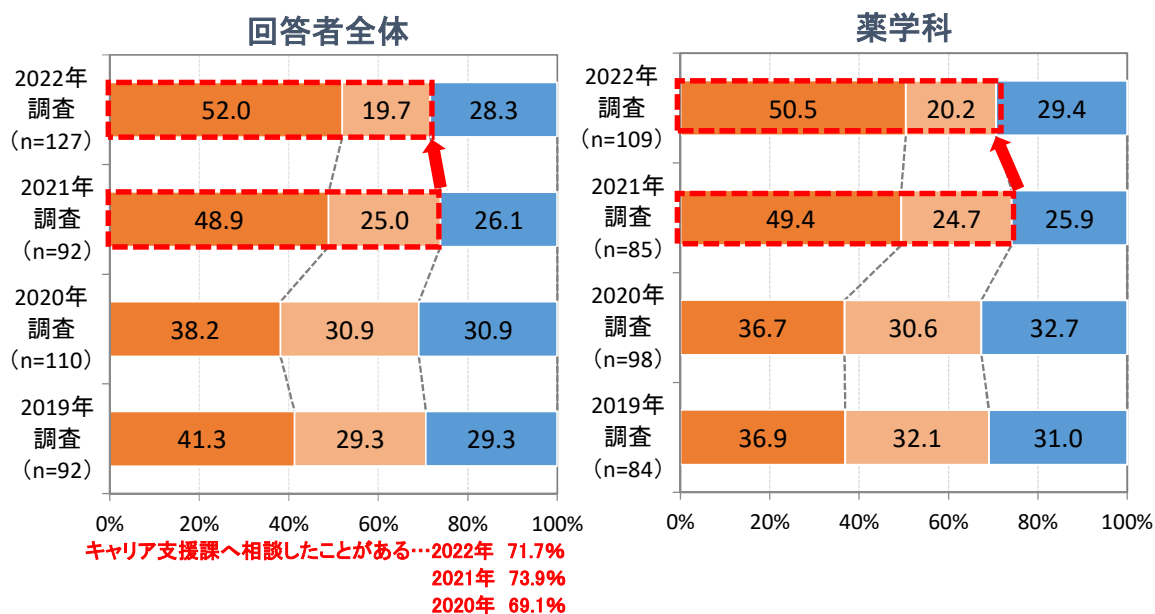
薬学科では、キャリア支援課を活用した卒業生が70.6%で、2021年調査から4.7pt減少。

回答者全体・薬学科ともに「何度も相談した」のスコアが50%強で、ここ4か年で最も高いスコアである。

設問1 あなたが明治薬科大学に在学中～卒業時のことをお聞きます。

■ Q1-1. あなたが明治薬科大学に在学中、キャリア支援課へ就職活動の相談をしたことはありますか？

- 1. 何度も相談をした ■ 2. 一度だけ相談をした ■ 3. 相談したことはない



※生命創薬科学科・大学院については、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問 1. 在学中～卒業時の就職活動について

回答者全体のうち、
81.9%が第一志望の業種へ就職

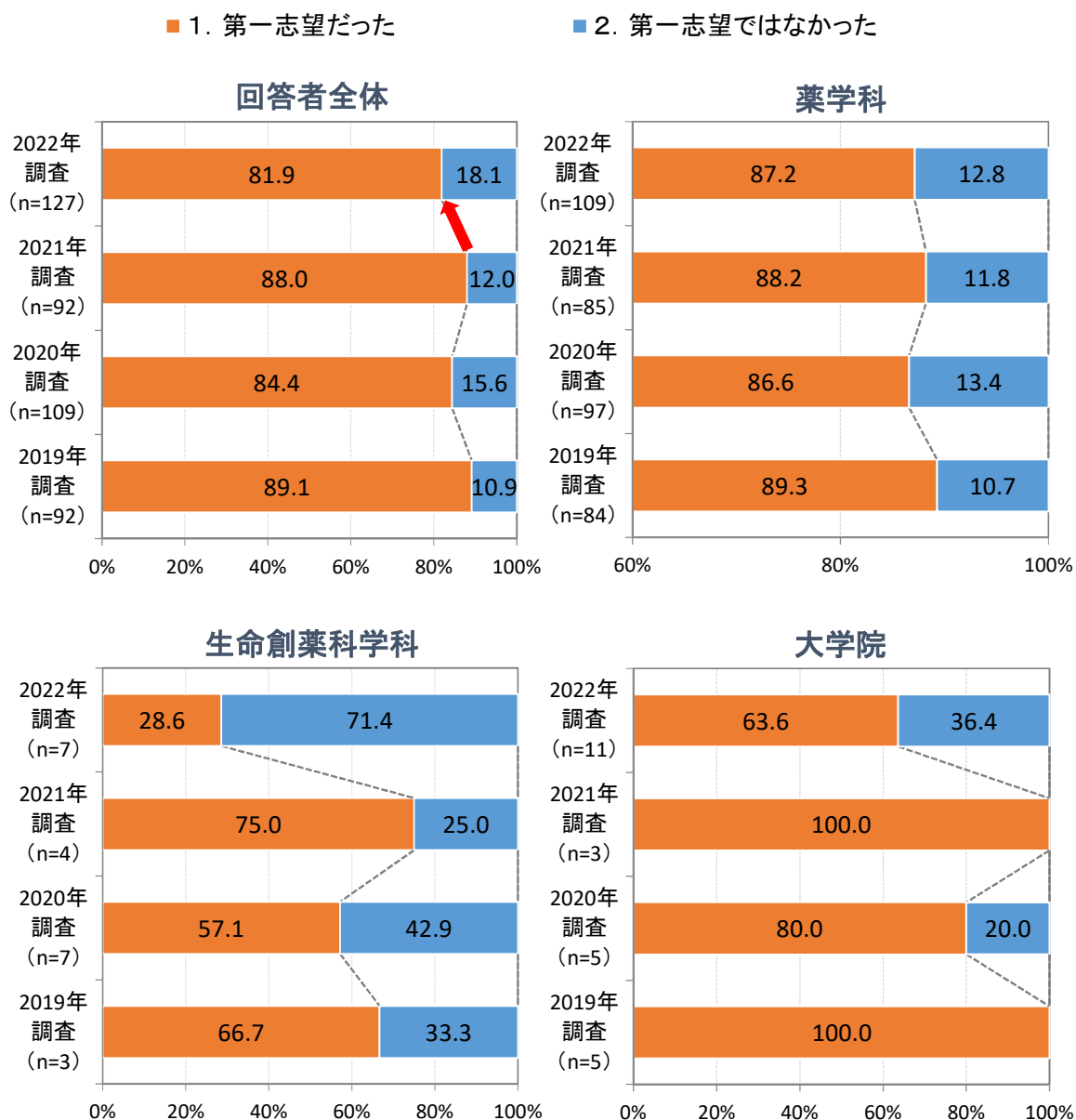
回答者全体のうち、明治薬科大学の卒業時に決まっていた(内定を獲得していた)就職先について、業種が「第一志望だった」のは81.9%。2021年調査に比べ6.1pt減少。

薬学科では、「第一志望だった」は87.2%

設問1 あなたが明治薬科大学に在学中～卒業時のことをお聞きます。

■ Q1-2. 明治薬科大学を卒業する際、決まっていた就職先の業種は当時の第一志望でしたか？

※2018年調査は業種・職種の志望度を一括りにして聞いた結果



※生命創薬科学科・大学院については、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問 1. 在学中～卒業時の就職活動について

回答者全体のうち、
85.0%が第一志望の職種へ就職

明治薬科大学の卒業時に決まっていた(内定を獲得していた)就職先について、回答者全体のうち職種が「第一志望だった」のは、85.0%。2021年調査に比べ6.3pt減少。

薬学科では、「第一志望だった」が88.1%。2021年調査に比べ3.7pt減少。

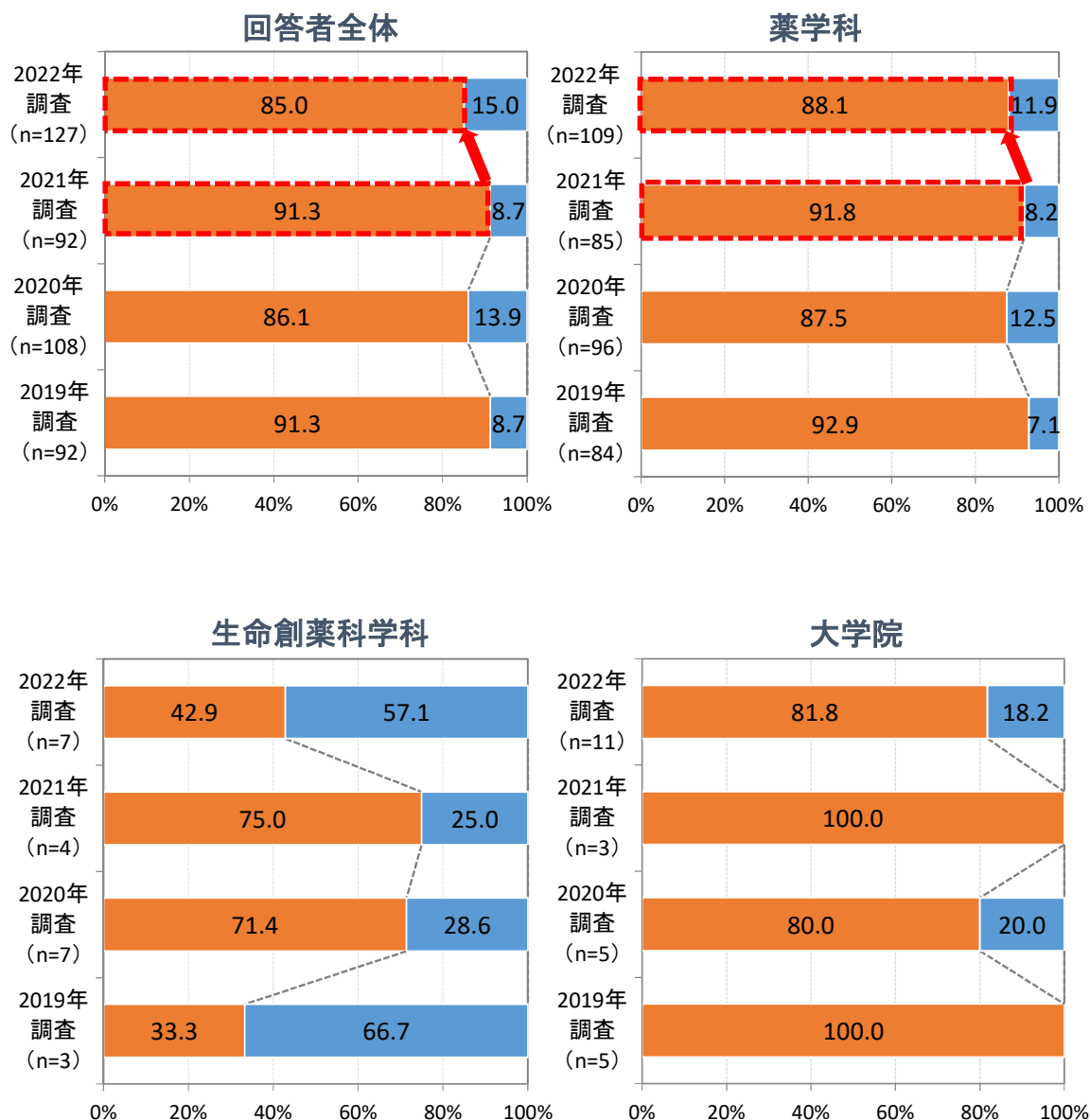
設問1 あなたが明治薬科大学に在学中～卒業時のことをお聞きます。

■ Q1-3. 明治薬科大学を卒業する際、決まっていた就職先の職種は当時の第一志望でしたか？

※2018年調査は業種・職種の志望度を一括りにして聞いた結果

■ 1. 第一志望だった

■ 2. 第一志望ではなかった



※生命創薬科学科・大学院については、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問2. 大学卒業後の就業状況について

**ファーストキャリアの業種について、
薬学科は「病院」「保険薬局」「ドラッグストア」で63.8%を占める。
「病院」「保険薬局」は減少、「ドラッグストア」は増加傾向。**

大学卒業後の最初の業種について、回答者全体のうち63.8%が「病院」「保険薬局」「ドラッグストア」のうちいずれかに就職。2021年調査と比べ、「病院」のスコアは8.5pt減少。

経年でみると、概ね「病院」「保険薬局」は減少傾向に、「ドラッグストア」は増加傾向にある。

薬学科では、「病院」「保険薬局」「ドラッグストア」の合計で7割を超えている。

設問2 大学を卒業後、最初に就業した業種・職種(ファーストキャリア)についてお聞きします。

■ Q2-1. あなたが明治薬科大学を卒業して、最初に就業した業種について
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

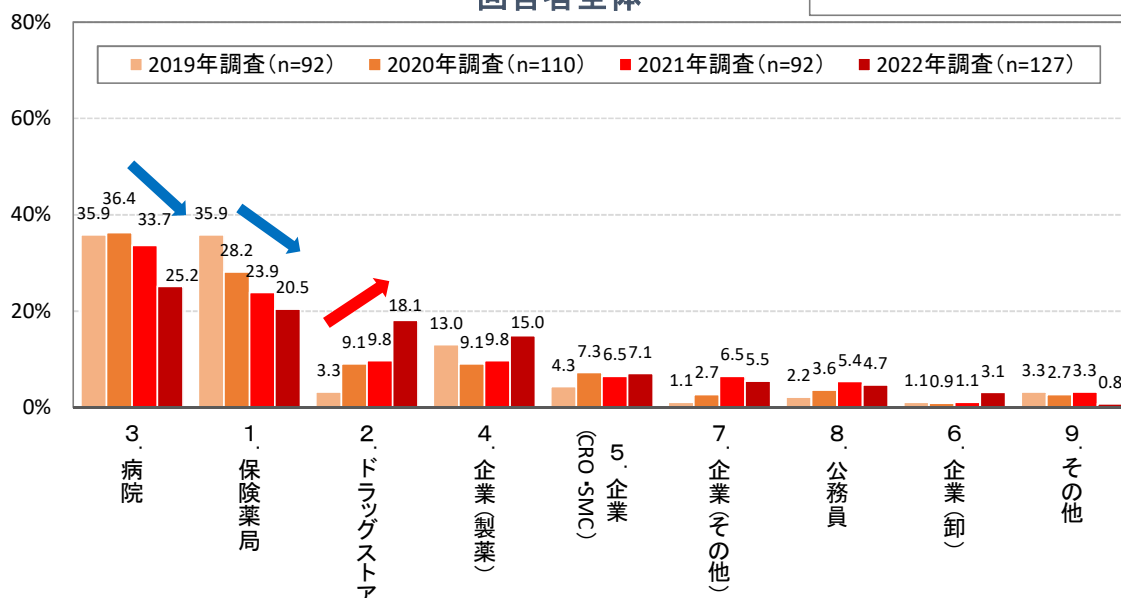
その他内訳

●大学院

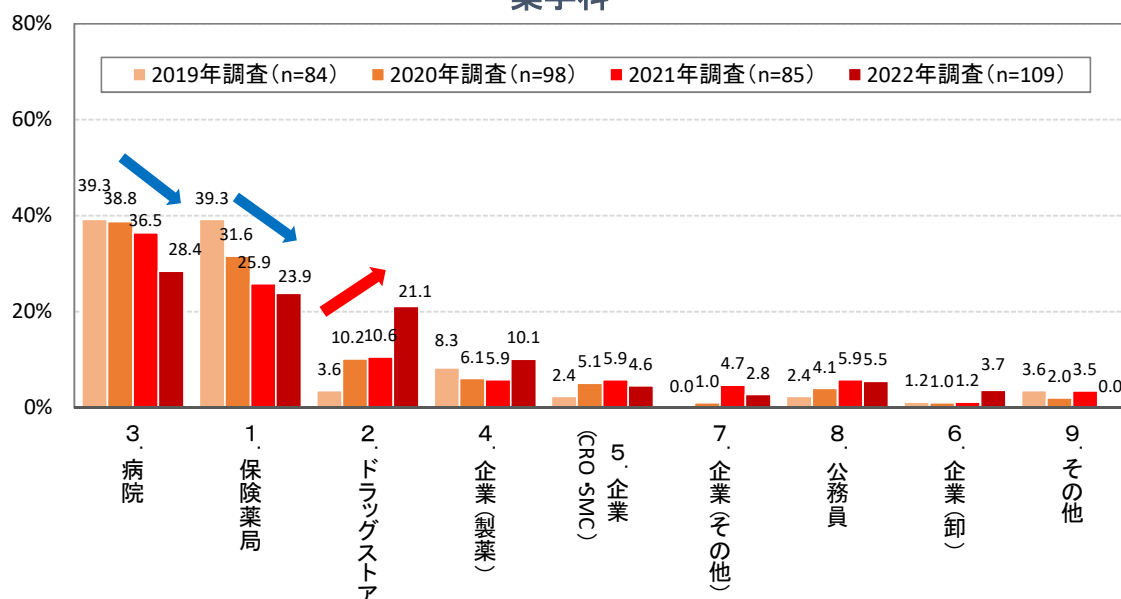
ITシステムエンジニア：1名

※2022年調査全体スコアで降順ソート

回答者全体



薬学科

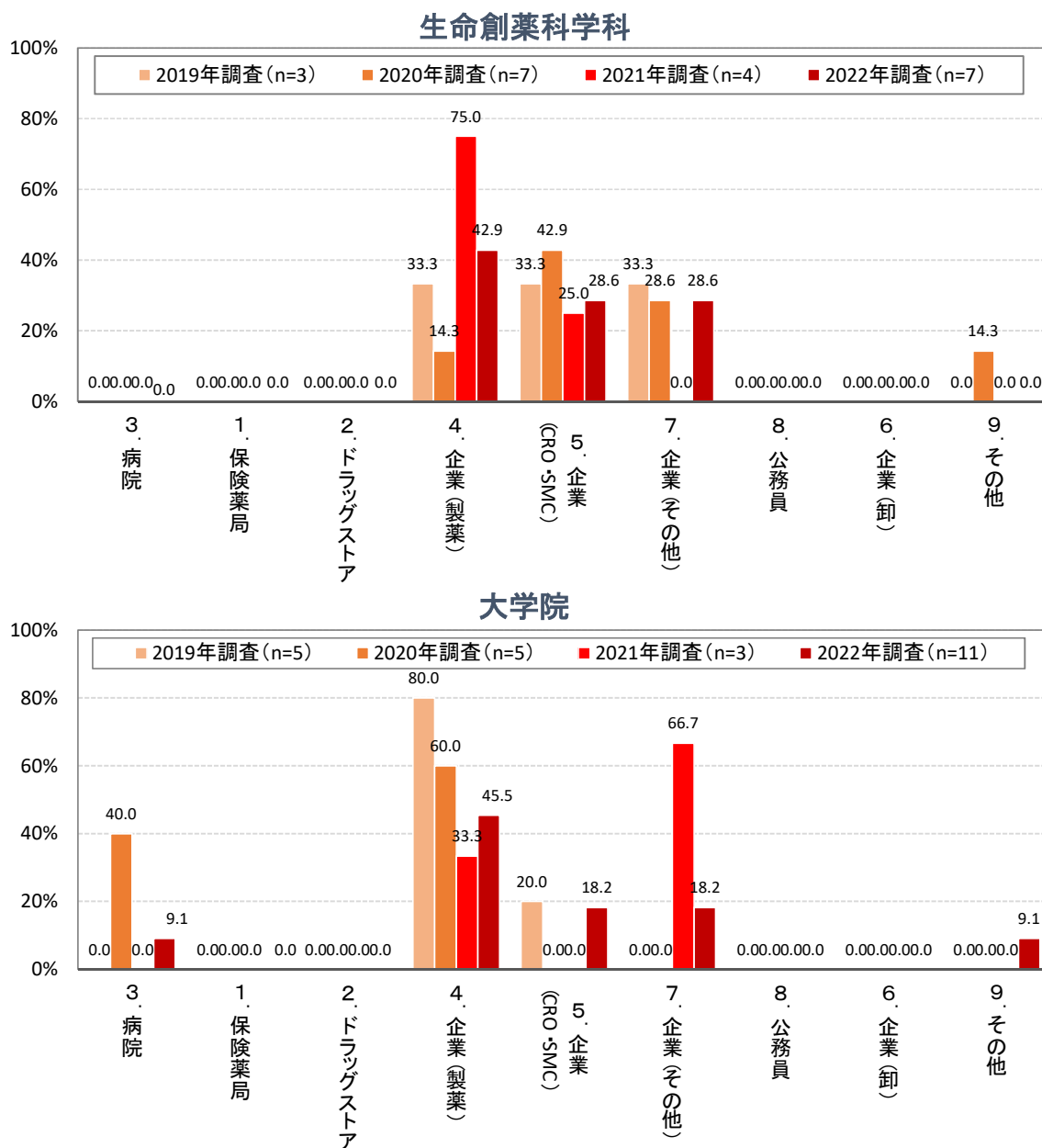


設問2. 大学卒業後の就業状況について

設問2 大学を卒業後、最初に就業した業種・職種(ファーストキャリア)についてお聞きます。

■Q2-1. あなたが明治薬科大学を卒業して、最初に就業した業種について
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

※2022年調査全体スコアで降順ソート



※生命創薬科学科・大学院については、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問 2. 大学卒業後の就業状況について

**薬学科の大学卒業後のファーストキャリアでは、
70.1%が「薬剤師」として就職**

大学卒業後の最初の職種について、回答者全体のうち70.1%が「薬剤師」として就職。2021年調査と同程度。

薬学科では、「薬剤師」が80.7%。2021年調査と比べ4.3pt増加。
また、1割未満と少ないが「臨床開発職」が微増傾向にある。

設問2 大学を卒業後、最初に就業した業種・職種(ファーストキャリア)についてお聞きます。

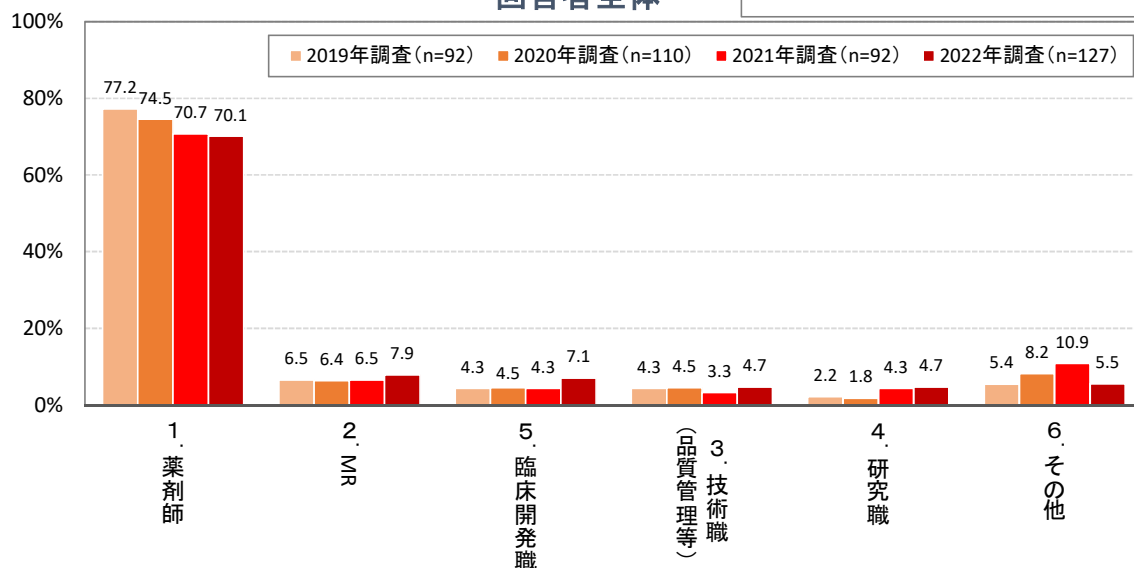
■ Q2-2. あなたが明治薬科大学を卒業して、最初に就業した職種についてあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

※2022年調査全体スコアで降順ソート

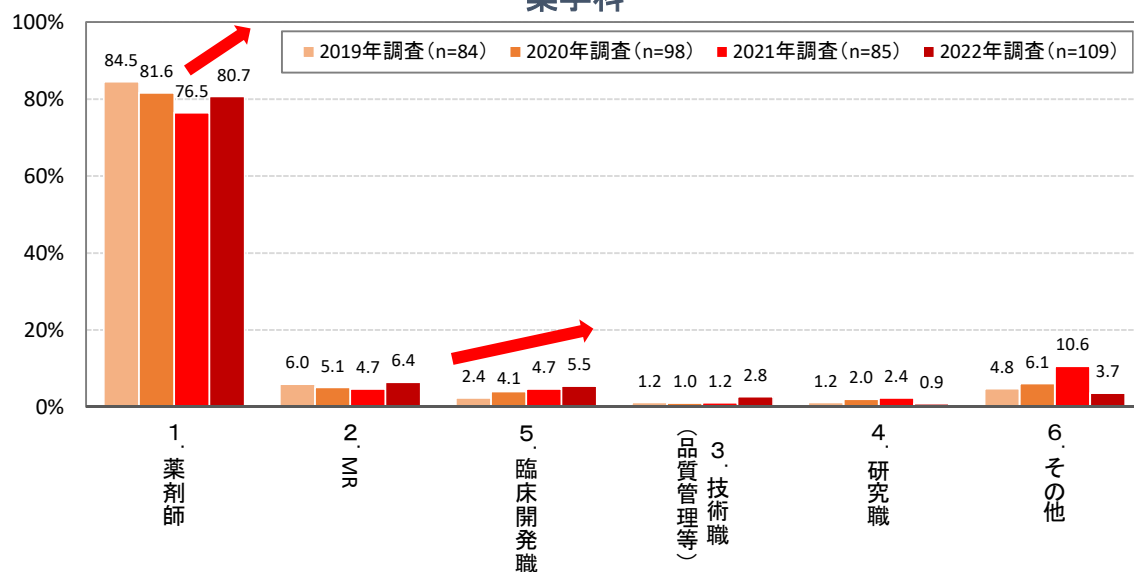
その他内訳

- 薬学科
- 大学院
- 行政職 1
- 生命創薬科学科
- ITシステムエンジニア 1
- 営業職 1

回答者全体



薬学科

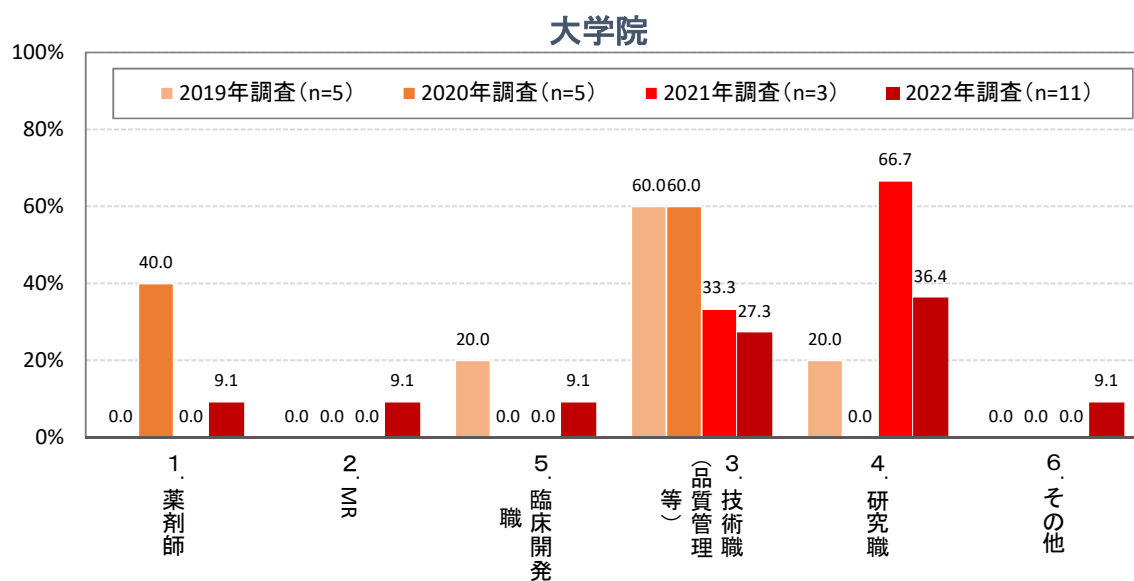
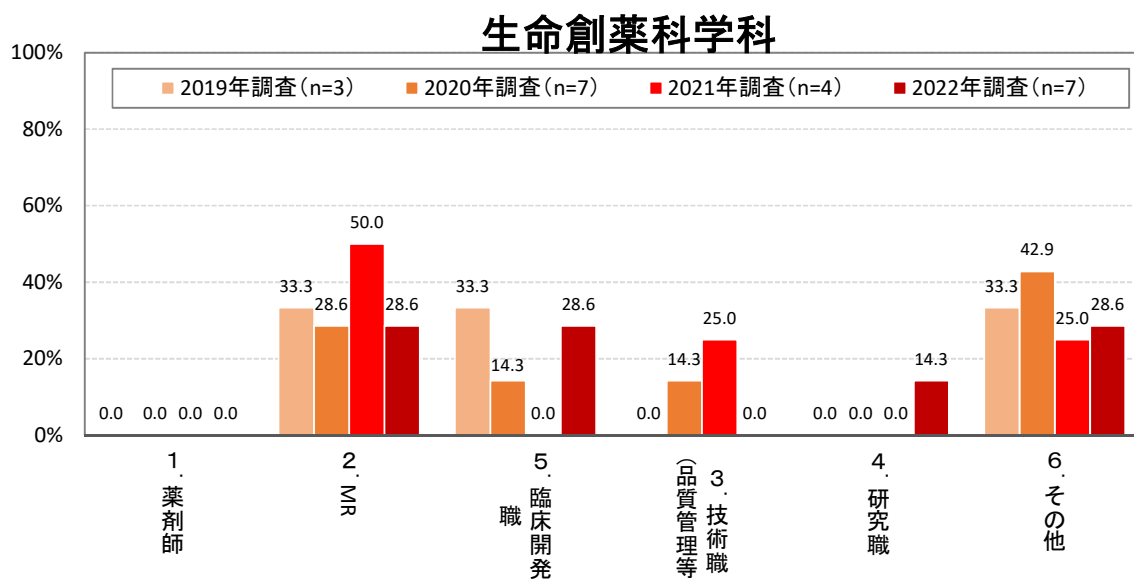


設問2. 大学卒業後の就業状況について

設問2 大学を卒業後、最初に就業した業種・職種(ファーストキャリア)についてお聞きします。

■ Q2-2. あなたが明治薬科大学を卒業して、最初に就業した職種について
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

※2022年調査全体スコアで降順ソート



※生命創薬科学科・大学院については、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問 2. 大学卒業後の就業状況について

**回答者全体では、
3年以上ファーストキャリアにとどまったのは78.7%**

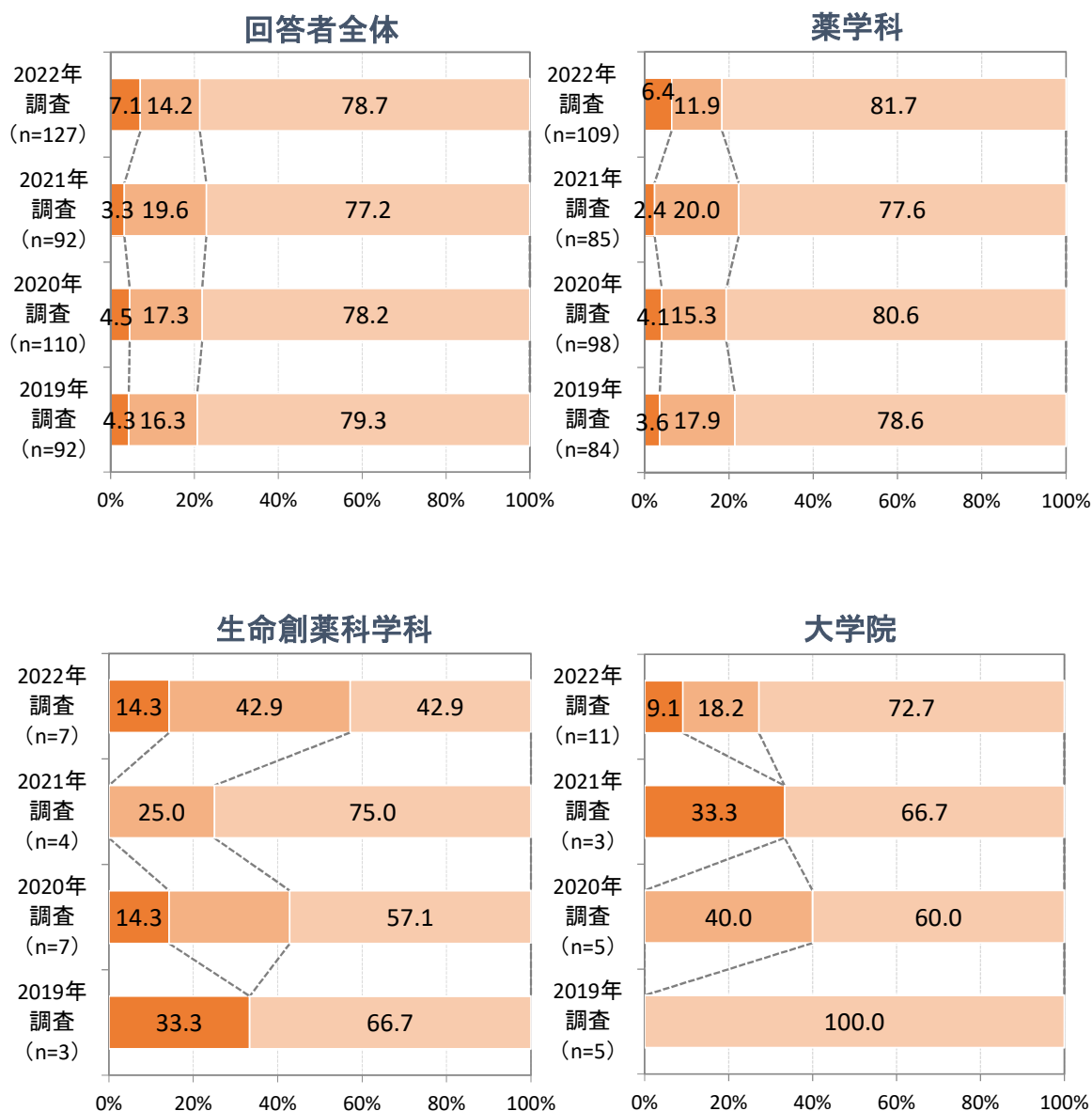
最初に就業した業種・職種(ファーストキャリア)に「3年以上」勤めているのは、回答者全体のうち78.7%。
2021年調査に比べ「1年未満」が3.8pt増加。

薬学科では「3年以上」は81.7%。
2021年調査に比べ「1年未満」が4.1pt、「3年以上」は4.0pt増加。

設問2 大学を卒業後、最初に就業した業種・職種(ファーストキャリア)についてお聞きます。

■ Q2-3. あなたが明治薬科大学を卒業して 最初の就業先 について勤続年数を教えてください。
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

■ 1. 1年未満 ■ 2. 1～3年未満 ■ 3. 3年以上



※生命創薬科学科・大学院については、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問3. 転職・離職経験について

転職・離職の経験がある人は 回答者全体のうち20.5%

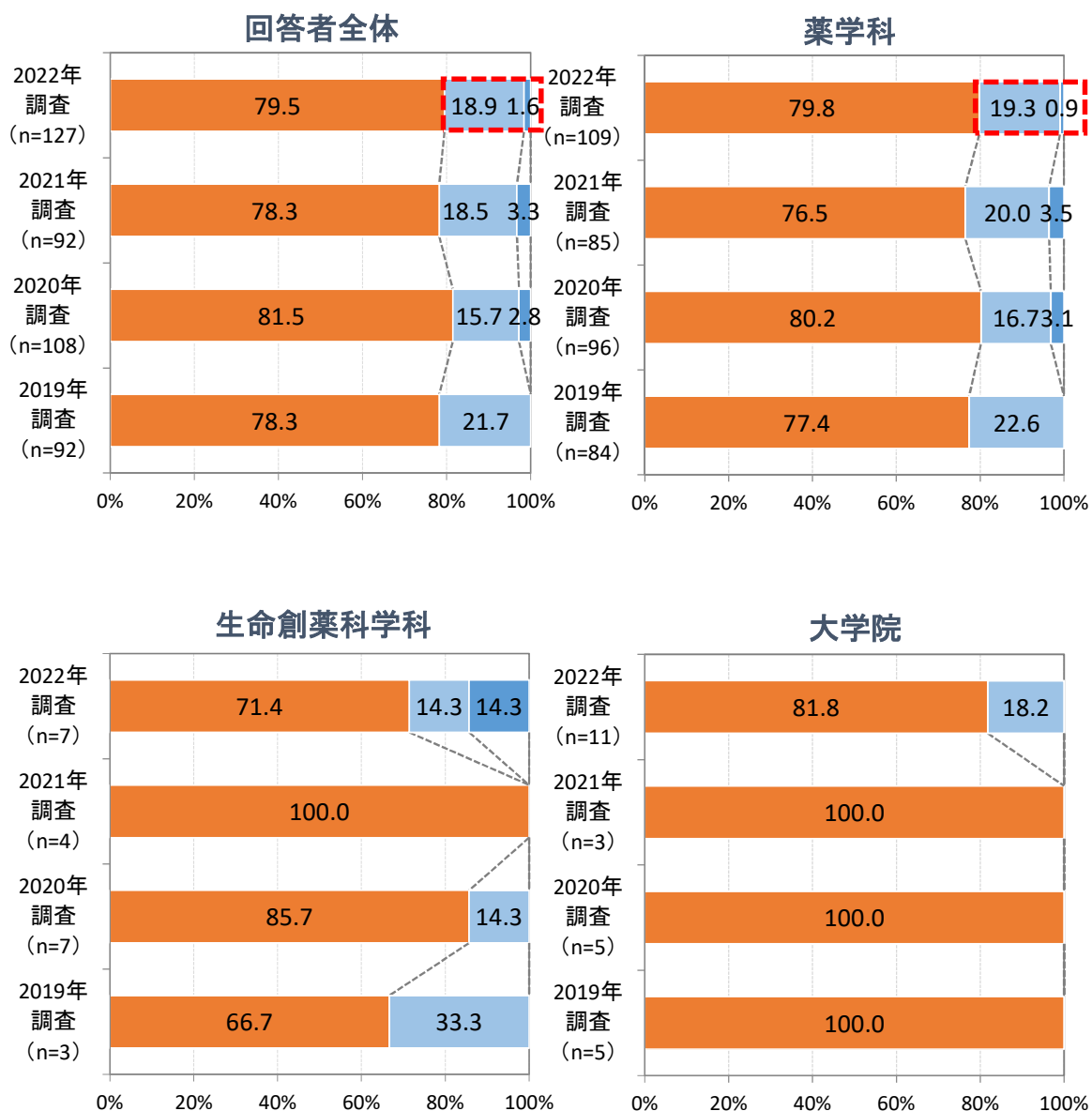
転職・離職の経験があるのは、回答者全体のうち20.5%と、2021年調査とほぼ同程度。

薬学科では、20.2%が転職・離職の経験あり。

設問3 あなたの転職・離職経験についてお聞きます。

■ Q3-1. 転職・離職の経験について
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

- 1. 転職・離職の経験がない
- 2. 転職・離職を1度経験した
- 3. 転職・離職を複数回経験した



※生命創薬科学科・大学院については、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

**薬学科の転職・離職後の業種は「保険薬局」が38.5%で最多
次いで「公務員」15.4%**

転職・離職後の現在の業種について、回答者全体では「保険薬局」が38.5%で最多。次いで「公務員」が15.4%。2021年調査まで増加傾向にあった「病院」は、今回、該当者が0人であった。

設問4 転職・離職経験がある方にお聞きます。

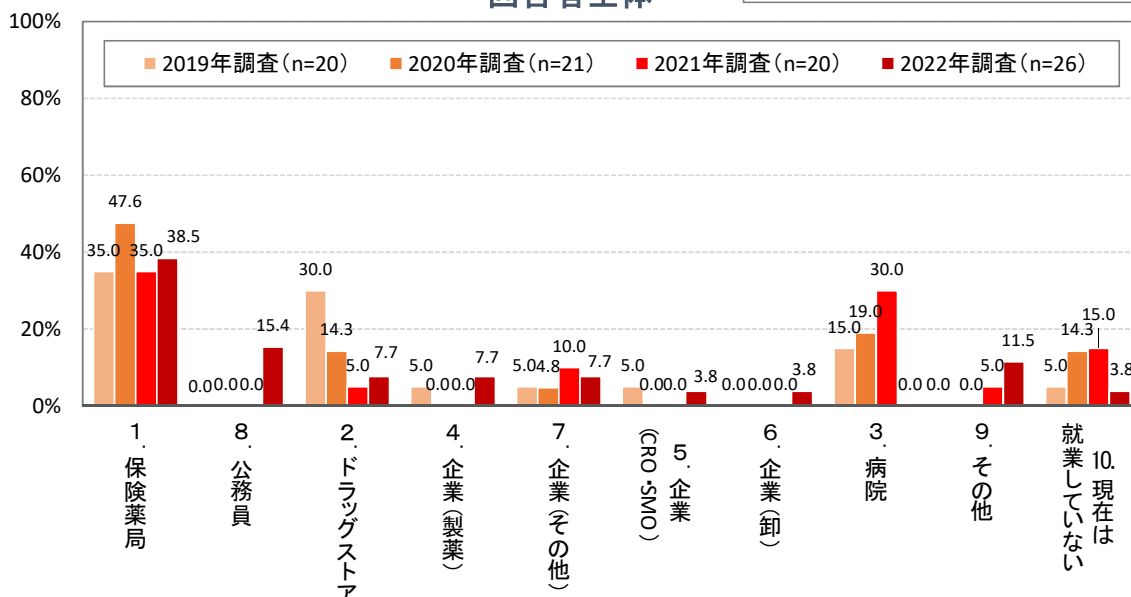
■ Q4-1. あなたの現在勤めている業種について
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

※2022年調査全体スコアで降順ソート

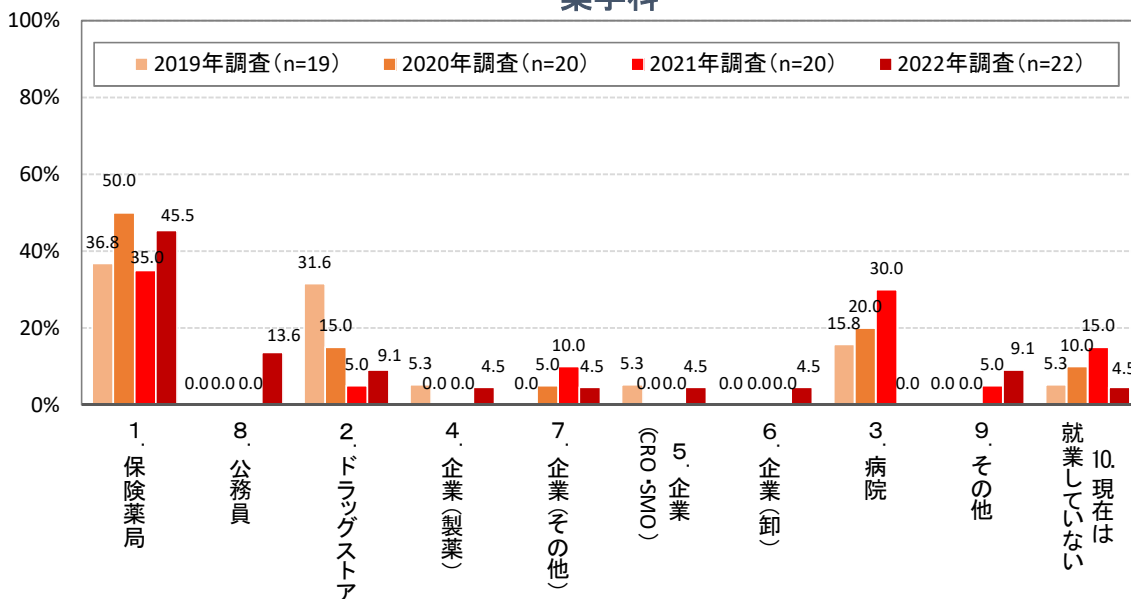
その他内訳

- 薬学科
- 大学院
- 医大生 1
- 不動産 1
- ワーキングホリデー 1

回答者全体



薬学科



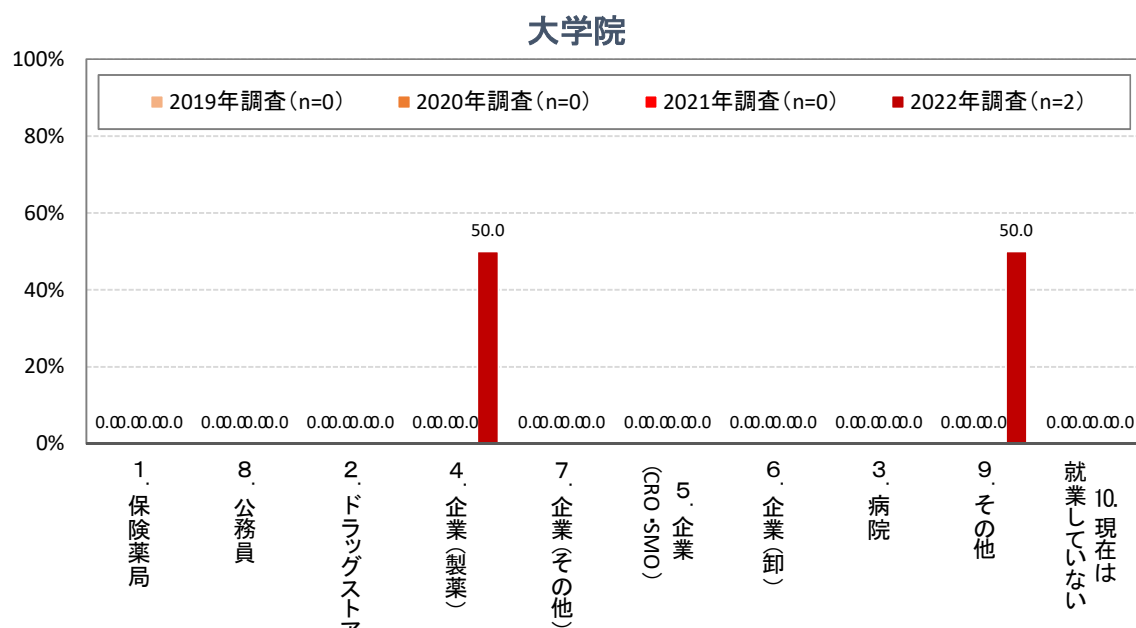
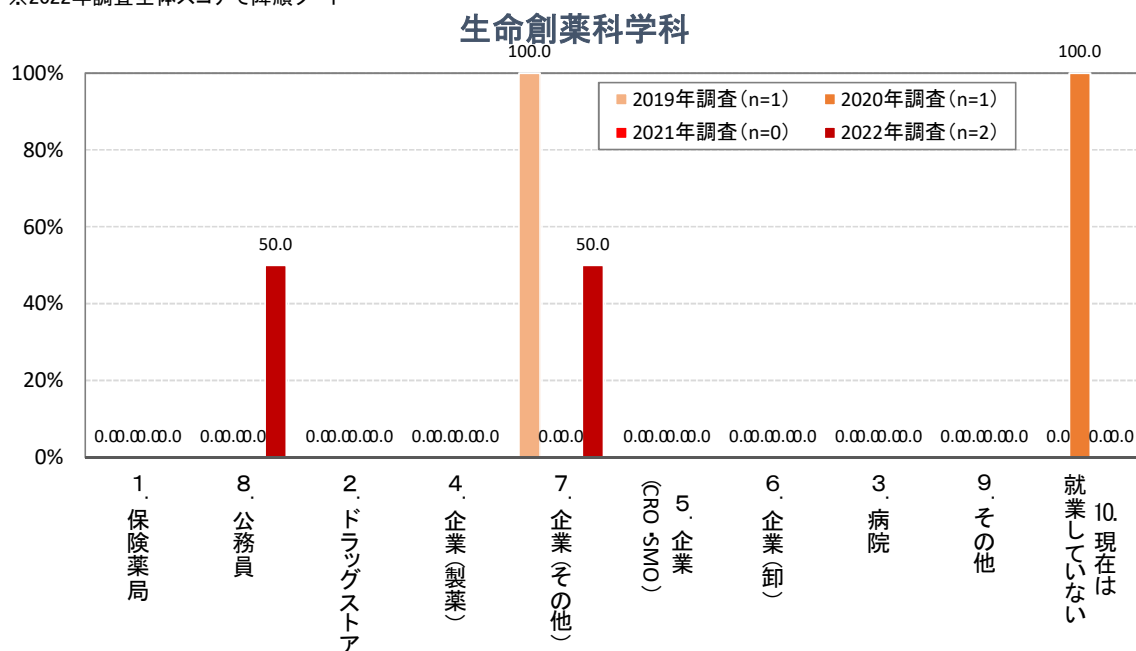
※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

設問4 転職・離職経験がある方にお聞きします。

■Q4-1. あなたの現在勤めている業種について
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

※2022年調査全体スコアで降順ソート



※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

**薬学科の転職・離職後の職種は「薬剤師」が57.7%で最多。
2020年調査から減少傾向**

転職・離職後の現在の職種について、回答者全体のうち57.7%が「薬剤師」と回答。
「薬剤師」のスコアは2020年調査から減少傾向にある。

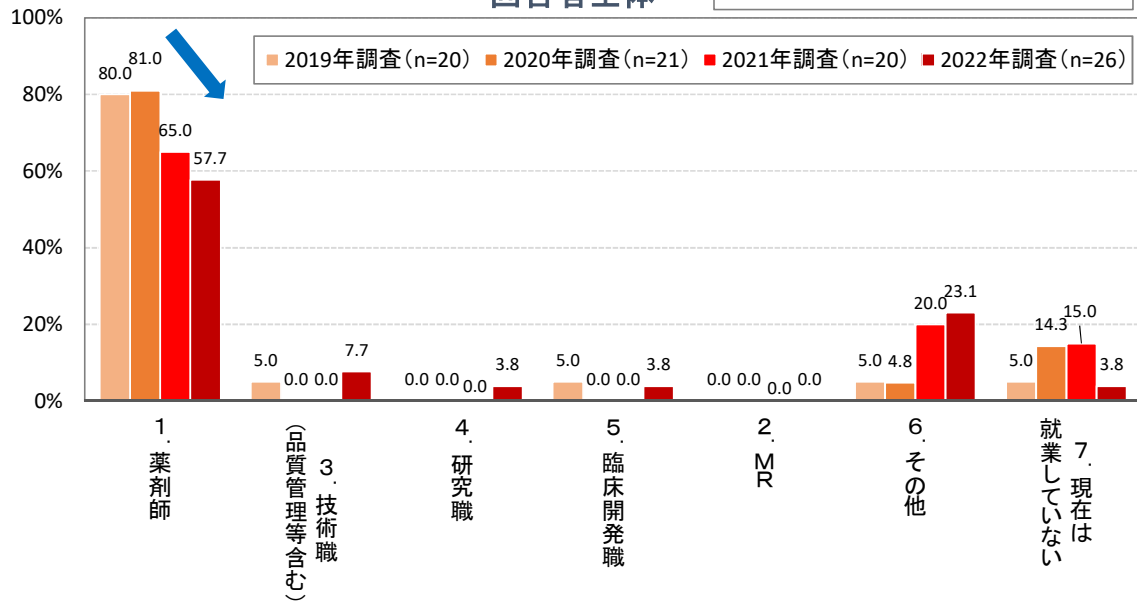
薬学科では、「薬剤師」が68.2%で最多。

設問4 転職・離職経験がある方にお聞きます。

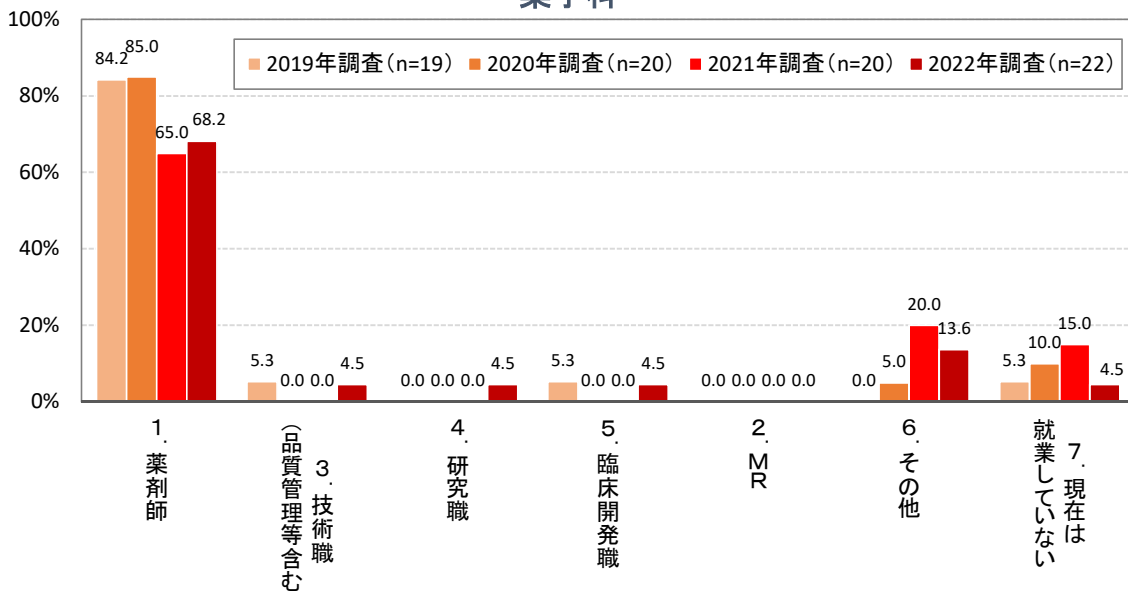
■ Q4-2. あなたの現在の職種について
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

※2022年調査全体スコアで降順ソート

回答者全体



薬学科



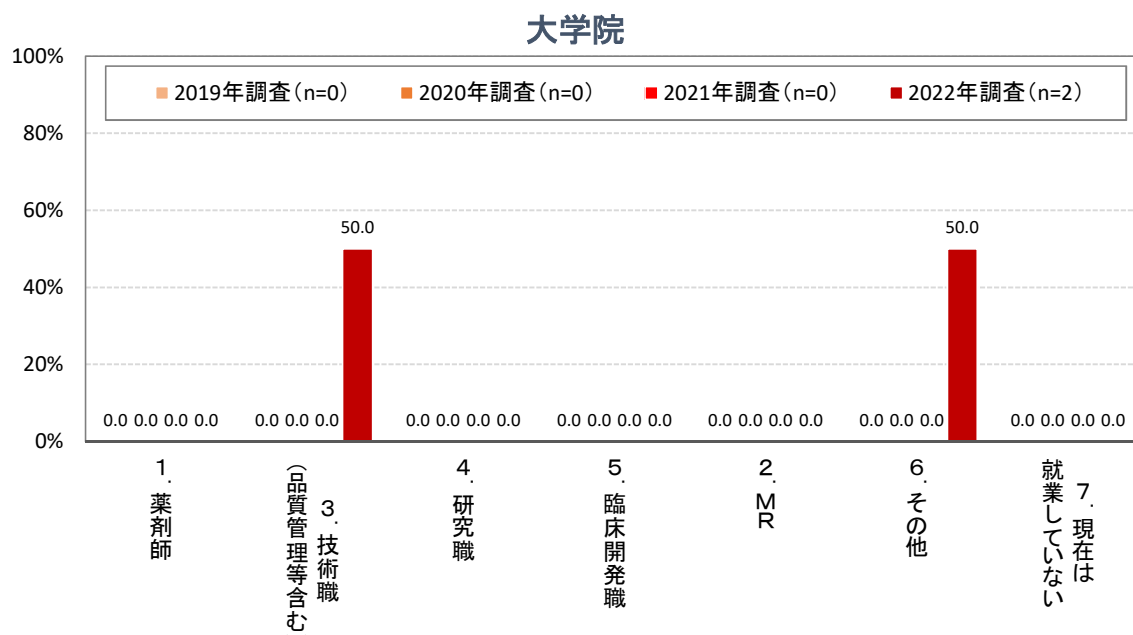
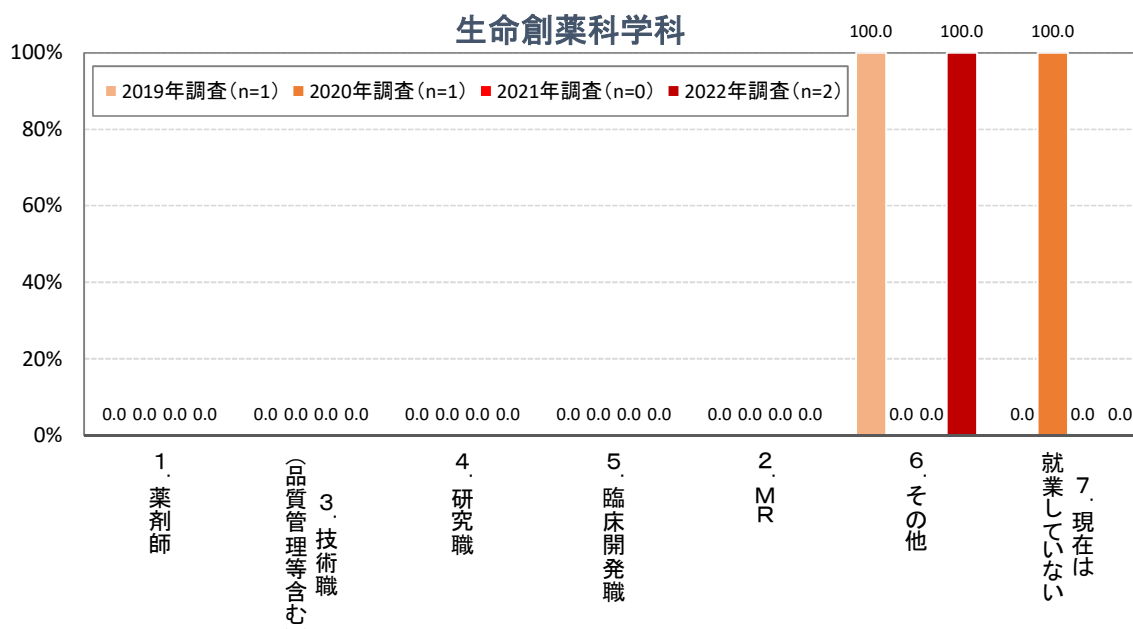
※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

設問4 転職・離職経験がある方にお聞きます。

■ Q4-2. あなたの現在の職種について
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

※2021年調査全体スコアで降順ソート



※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

過去調査同様、転職・離職経験者の約6割が
在職2年未満で前職を離れている

転職・離職経験者について、回答者全体のうち在職期間が「～2年未満」の人は61.5%にのぼる。
2019年～2021年調査についても、在職期間が「～2年未満」の人は60.0%～63.2%となっている。

設問4 転職・離職経験がある方にお聞きます。

■ Q4-3. 前職の在職期間について

あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

(複数回の転職・離職をされている場合、直近の前職についてお答えください)

その他内訳

●薬学科

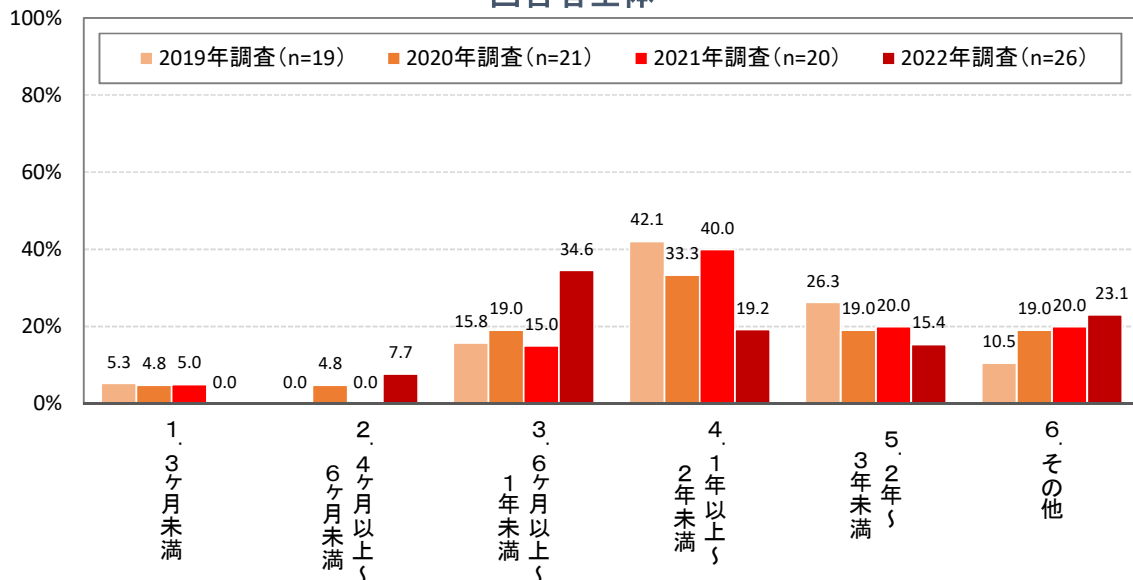
3年 4

3年以上 1

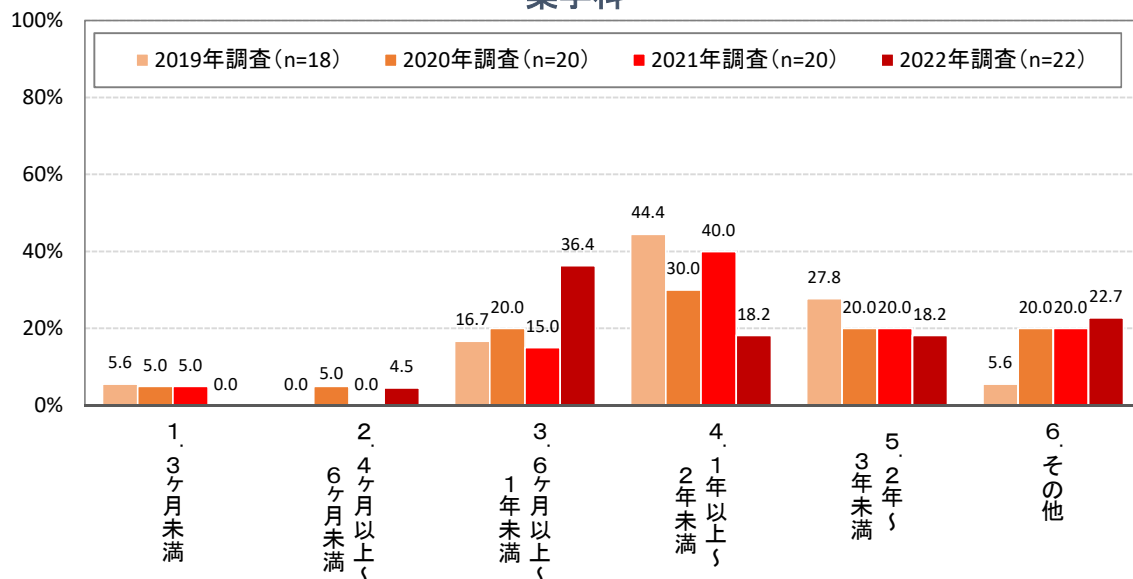
●大学院

3年 1

回答者全体



薬学科



※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

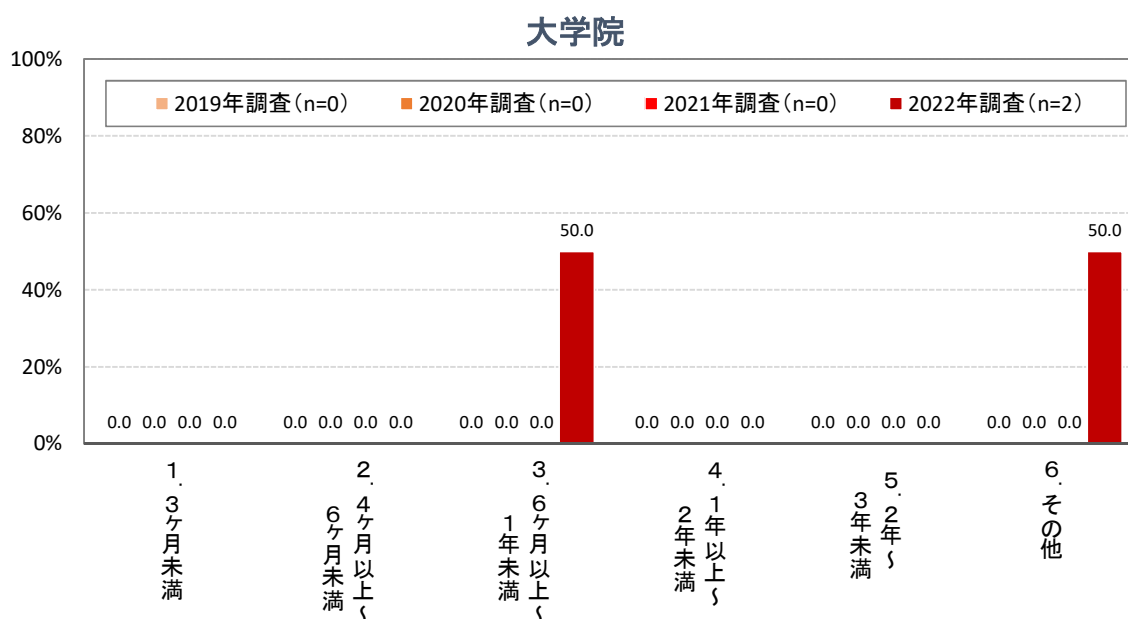
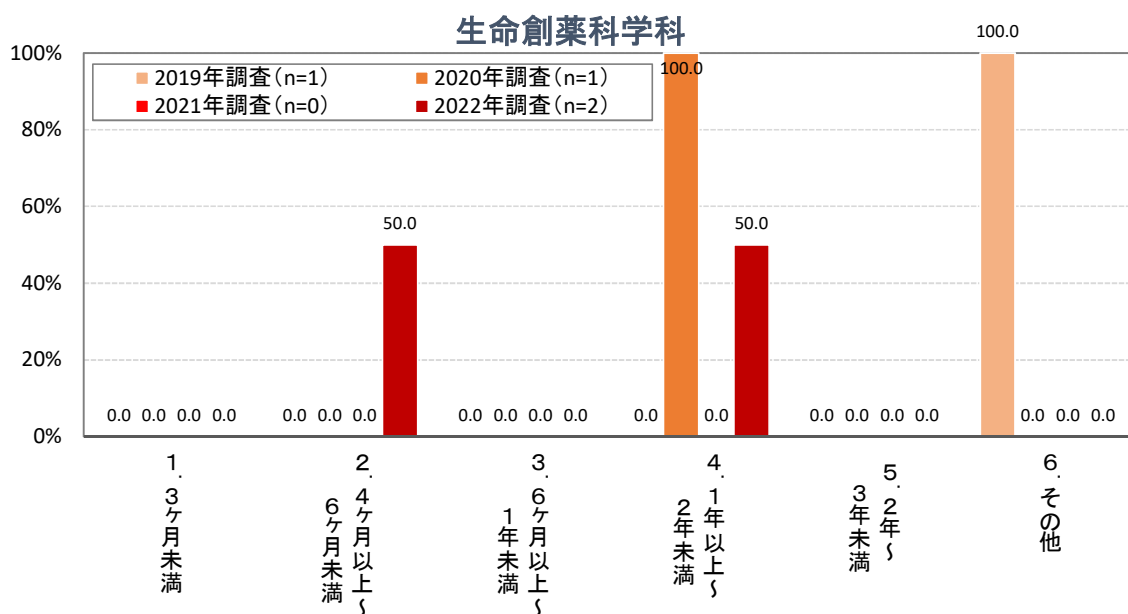
設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

設問4 転職・離職経験がある方にお聞きます。

■Q4-3. 前職の在職期間について

あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

(複数回の転職・離職をされている場合、直近の前職についてお答えください)



※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

転職・離職の最も強い理由は 「労働環境の改善」の34.6%

転職・離職理由について、回答者全体のうち34.6%が「労働環境の改善」と回答。
そのほか「他業種でのスキルアップ」「結婚」「給与面の待遇」「経営方針・社風 mismatches」などが高い。

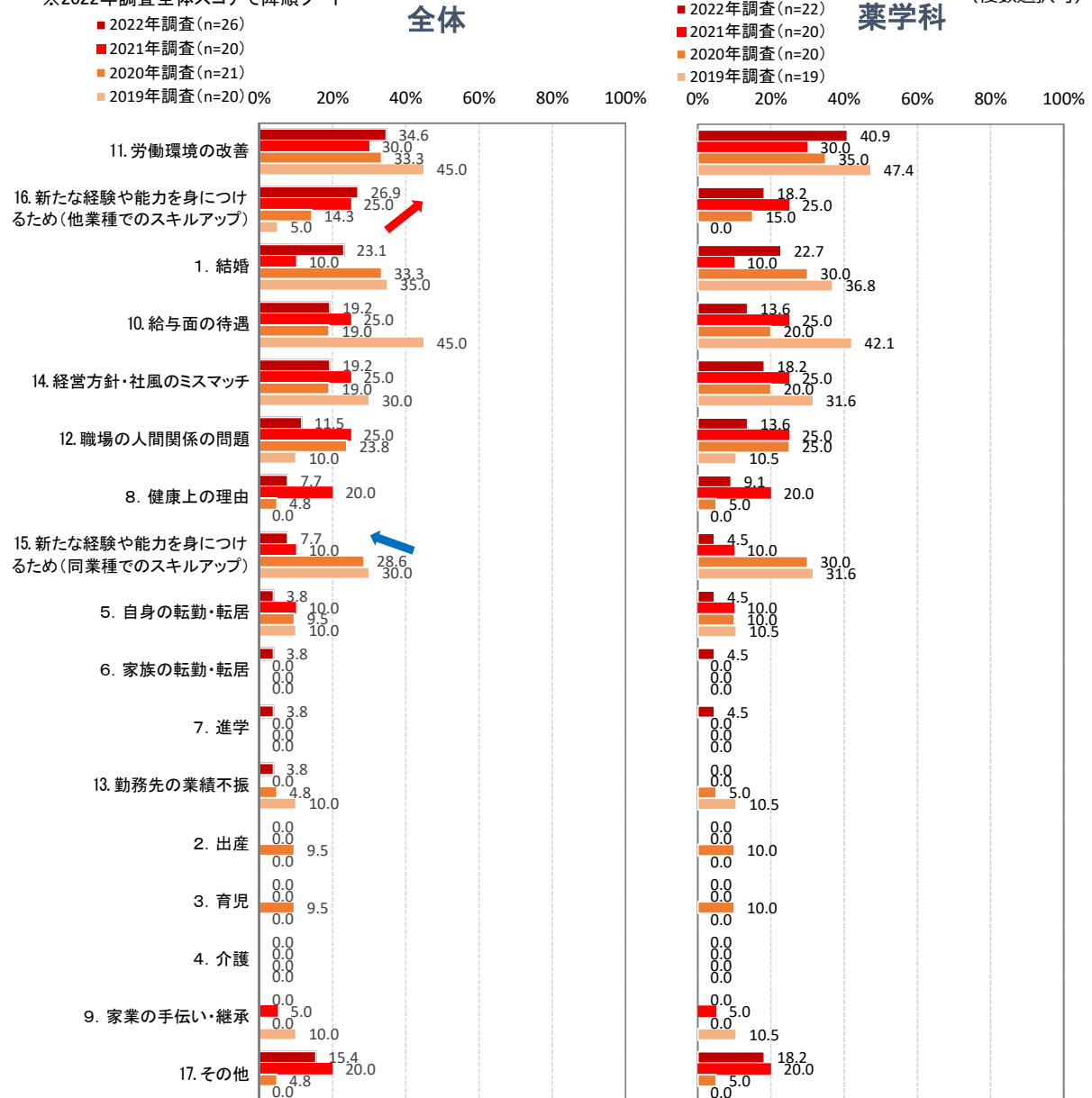
「他業種でのスキルアップ」が増加傾向に、「同業種でのスキルアップ」は減少傾向にある。

設問4 転職・離職経験がある方にお聞きます。

■ Q4-4. 転職・離職の理由について あてはまる番号をすべて選び、○をつけてください。

(複数回の転職・離職をされている場合、直近の前職についてお答えください)

※2022年調査全体スコアで降順ソート



※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

設問4 転職・離職経験がある方にお聞きします。

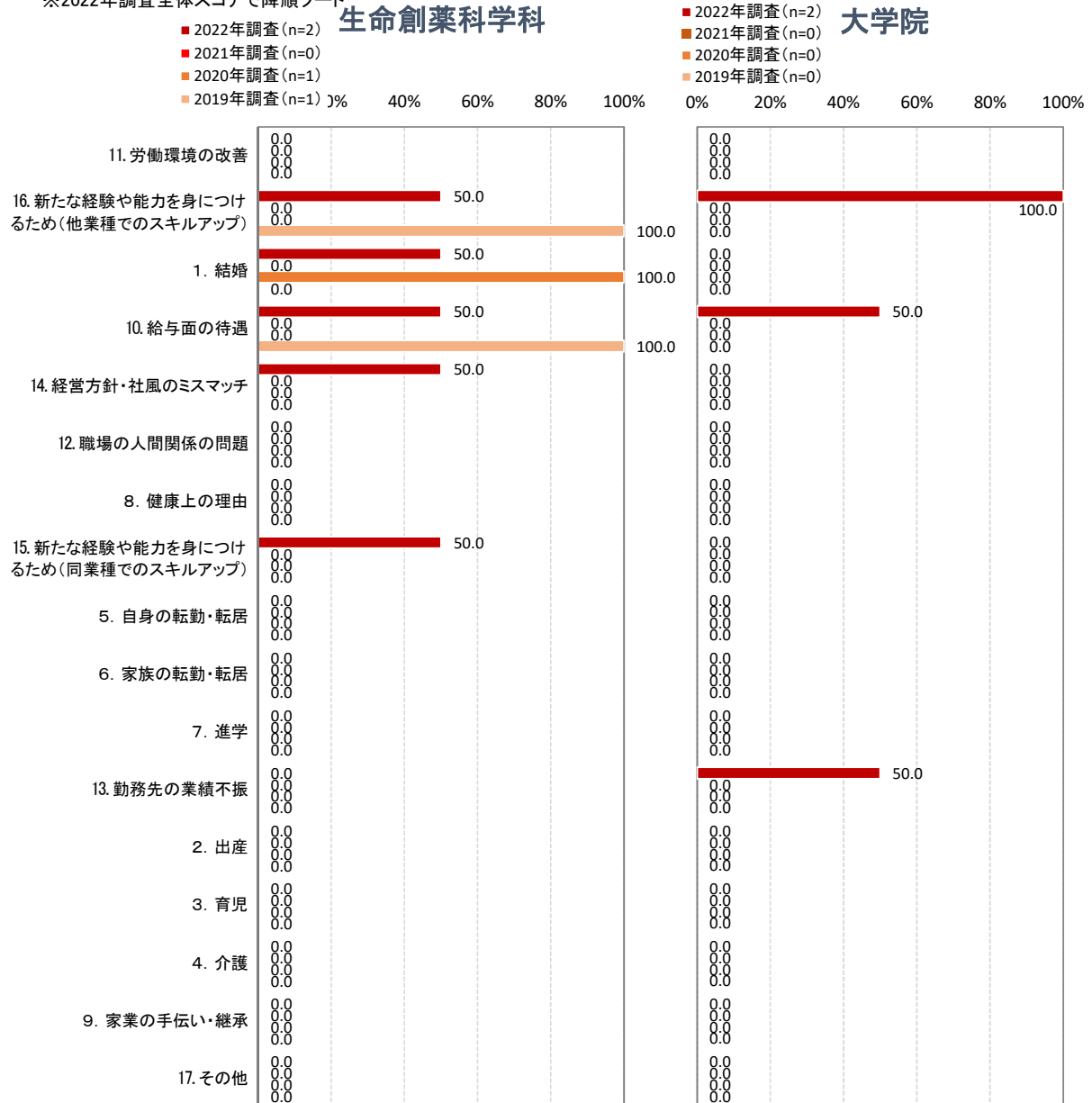
■ Q4-4. 転職・離職の理由について

あてはまる番号をすべて選び、○をつけてください。

(複数選択可)

(複数回の転職・離職をされている場合、直近の前職についてお答えください)

※2022年調査全体スコアで降順ソート



※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

転職・離職をする際に5割強が「転職エージェント」に相談 「父親・母親」に相談する人が減少

全体のスコアでは、転職・離職をする際の相談相手について、「転職エージェント」が最多で、53.8%を占める。2021年調査まで増加傾向にあった「父親・母親」は今回、13.8ptの大幅な減少となった。

設問4 転職・離職経験がある方にお聞きします。

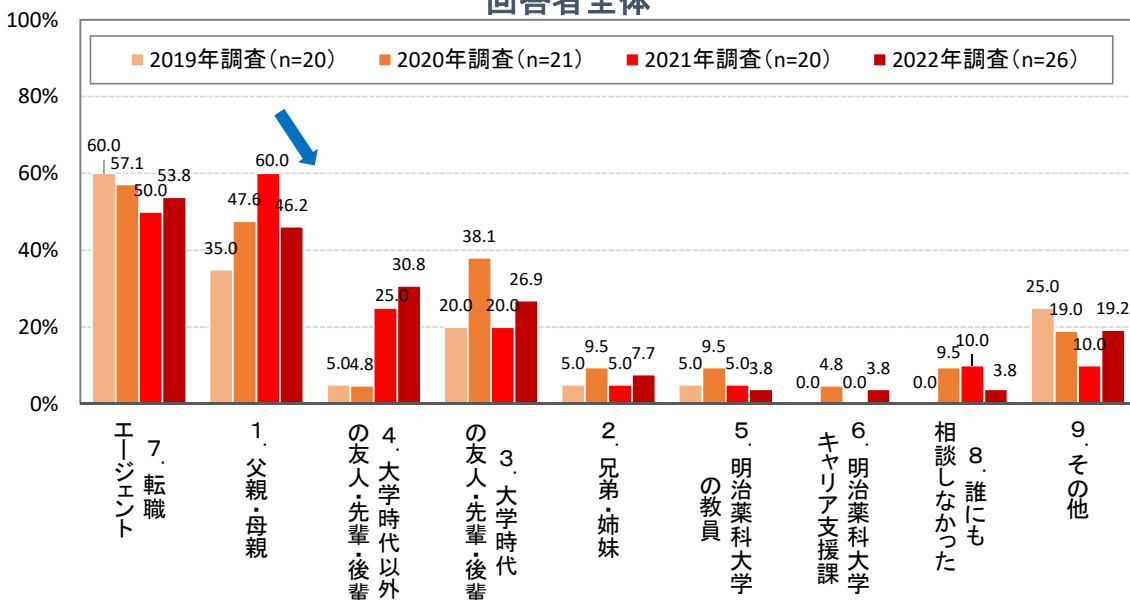
■ Q4-5. 転職・離職をする際、あなたが相談した相手について
あてはまる番号をすべて選び、○をつけてください。

※2022年調査全体スコアで降順ソート

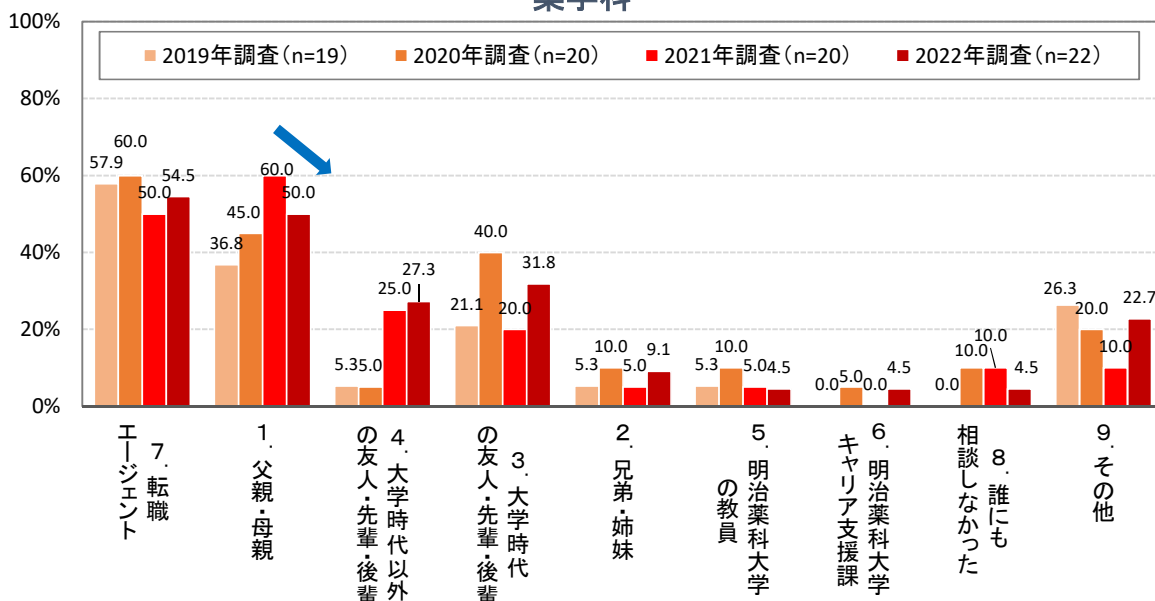
その他内訳
●薬学科
配偶者 2
前勤務先の先輩 1
彼氏 1

(複数回答可)

回答者全体



薬学科



※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

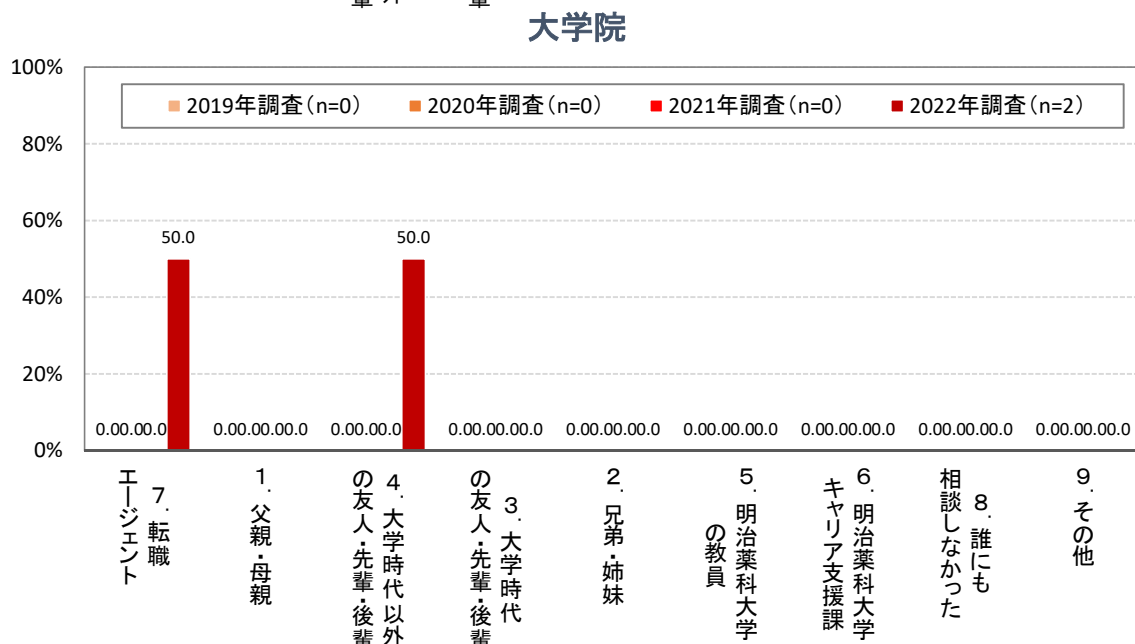
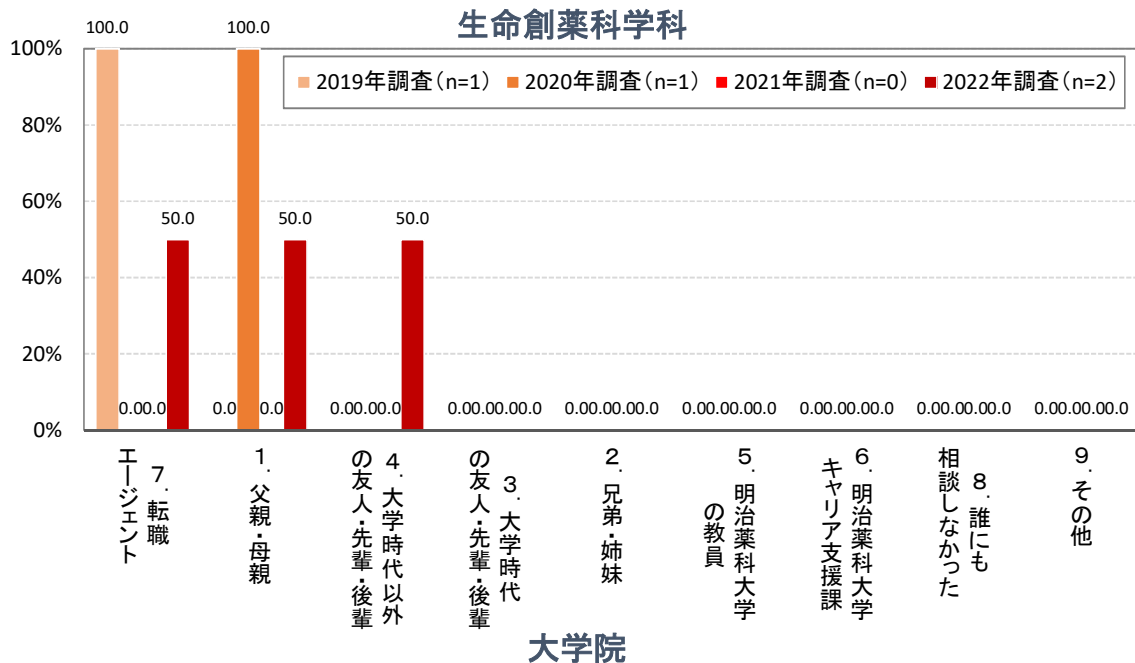
設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

設問4 転職・離職経験がある方にお聞きます。

■ Q4-5. 転職・離職をする際、あなたが相談した相手について
あてはまる番号をすべて選び、○をつけてください。

(複数回答可)

※2022年調査全体スコアで降順ソート



※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問5. 現在の就業先について

**現在の就業先の満足度は、回答者全体で74.4%。
2021年調査に比べわずかに減少。**

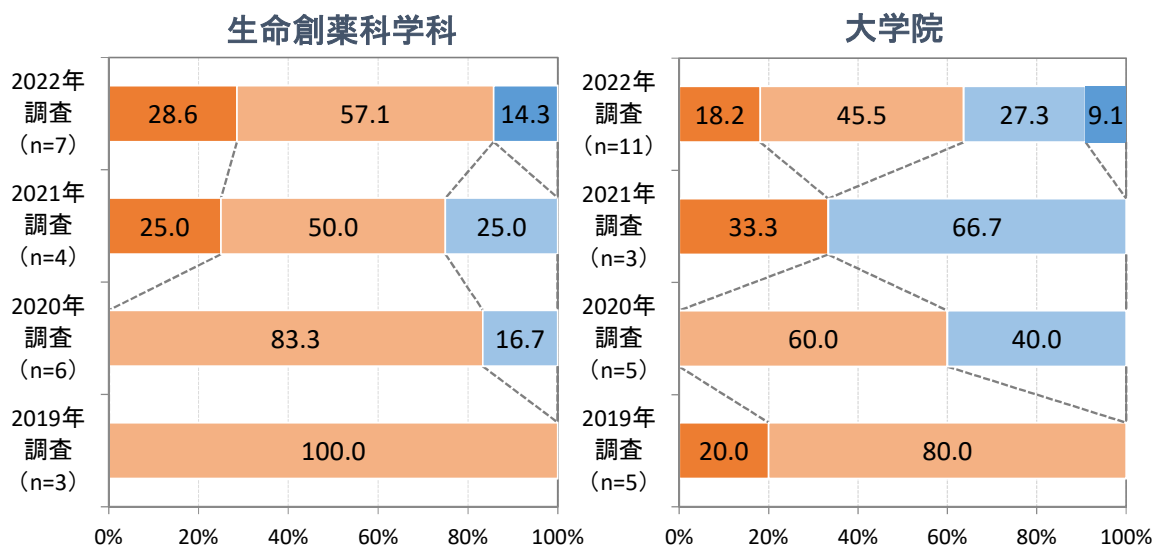
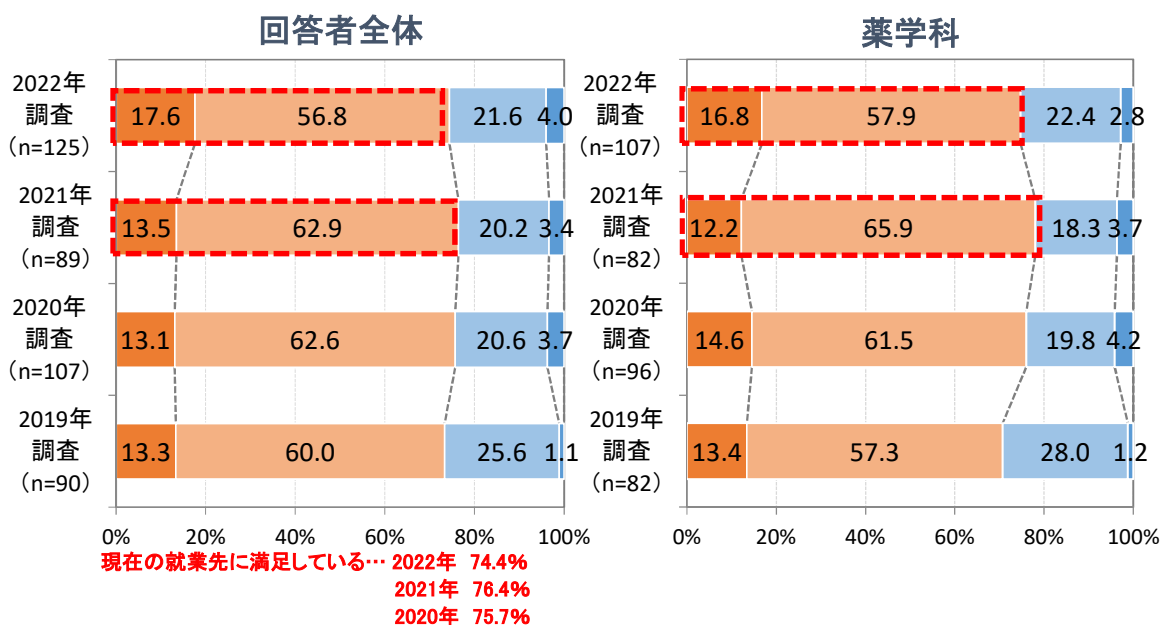
現在の就業先に対する満足度について、回答者全体のうち74.4%が満足していると回答。2021年調査に比べ、2.0ptの減少。

薬学科についても、2021年調査に比べ満足度がやや低下。

設問5 現在の就業先についてお聞きます。

■ Q5-1. 現在勤めている就業先に対する満足度について
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

- 1. 非常に満足している ■ 2. やや満足している ■ 3. あまり満足していない ■ 4. 不満である



※生命創薬科学科・大学院については、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問6. 明治薬科大学における学修経験について

大学において修得し、現在も維持している基本的な知識・技能・態度について、**薬学科では「薬物治療の実践における薬剤師としての責任感」が最多**

大学において修得し、現在も維持している基本的な知識・技能・態度について、「薬物治療の実践における薬剤師としての責任感」が60.2%で最多。

「医療人としてのコミュニケーション能力」は2021年調査に比べ8.6pt減少。

設問6 あなたの 明治薬科大学における学修経験 についてお聞きします。

■ Q6-1. 薬学科ご卒業の方にお聞きします。

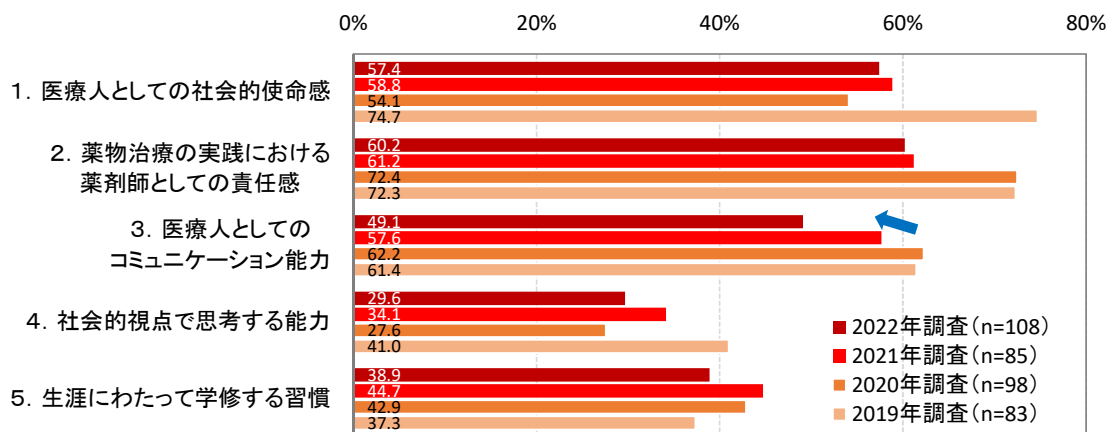
大学において修得した基本的な知識・技能・態度から、卒業後の現時点で

自身が修得していると思われる事項 を次の中からすべて選び、○をつけてください。

※2022年調査スコアで降順ソート

薬学科

大学において修得し、現在も維持している基本的な知識・技能・態度（複数回答）



■ Q6-2. 生命創薬科学科 および 大学院博士課程（前期）ご卒業の方にお聞きします。

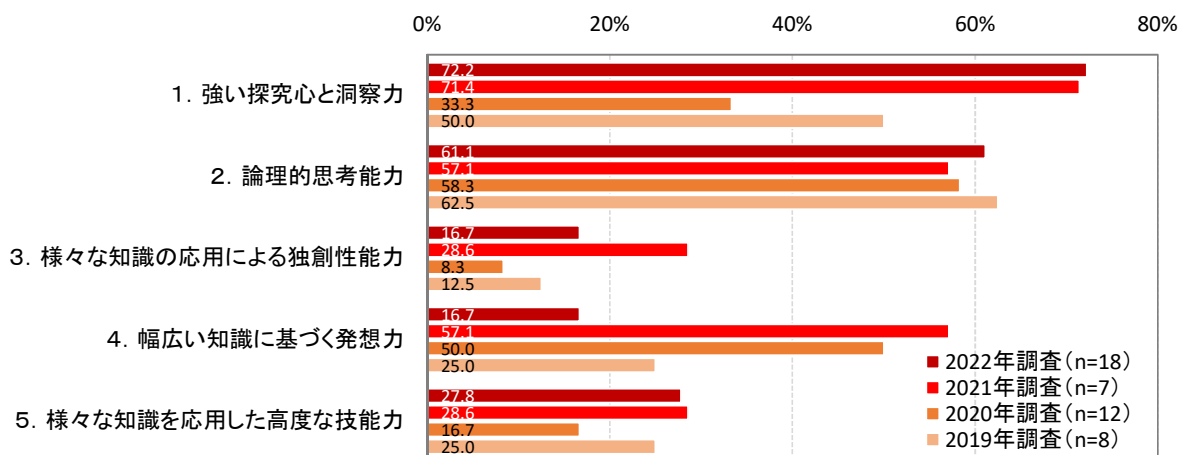
大学において修得した基本的な知識・技能・態度から、卒業後の現時点で

自身が修得していると思われる事項 を次の中からすべて選び、○をつけてください。

※2022年調査スコアで降順ソート

生命創薬科学科・大学院

大学において修得し、現在も維持している基本的な知識・技能・態度（複数回答）



※生命創薬科学科・大学院については、n数が少ないため参考値とさせていただきます。